



計測器のご紹介



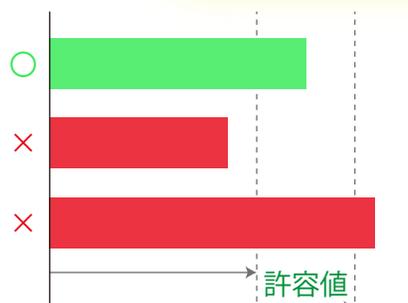
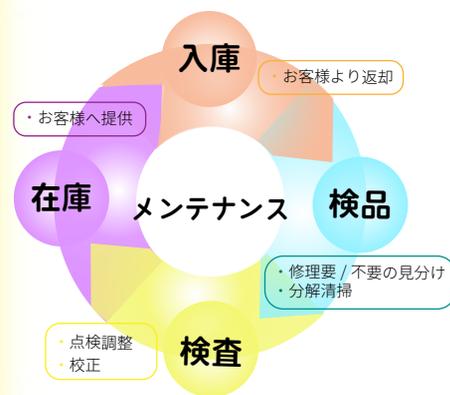
特定の目的をもって、事物を量的にとらえる為の方法・手段を考究し実施。

→その結果を用い所期の目的を達成させること。

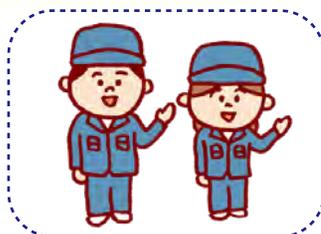
測定方法の決定から測定結果の評価までの事をいいます。

また、「測定」は「ある量を、基準として用いる量と比較し、数値又は符号を用いて表すこと。」

測って量を数値化する事をいいます。



正しい計測は検査の基本

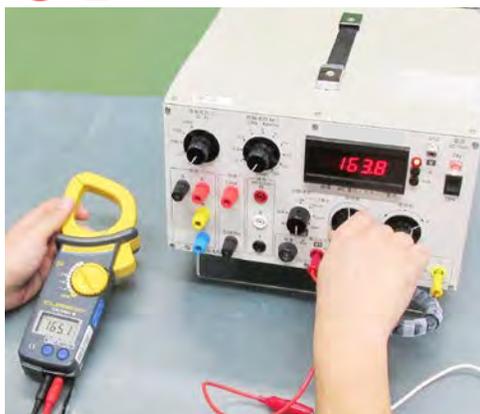


品質維持

すべての過程において、組織全体のメンバーが正しい計測を行なうことが大事です

計測器

01 クランプテスタ



電線を挟み込むことで磁場の力を借りて流れている電流を計測します。

電流の磁場を作りクランプテスタの検査を行っています。

02 風速計



飛行場・高速道路・塔・山頂等に設置され災害の軽減や安全運航の基準等の目的で利用します。

回転計を利用した治具を使用し0-5000rpmの回転が可能となり、レンタル機ではOT-902等は風速90m/sの測定も可能です。

05 トラックスケール



03 コンクリートモルタル水分計 04 酸素濃度計



防水・内装・塗装工事等で使用します。

下地が乾かない状態でクロス張や上塗り、防水施工等行うと変色や剥離をおこす場合があります。

ソーキオリジナルの検査用テストブロックを使用し検査を行います。検査基準は各機種により定められた値を基準に行っています。



マンホール・井戸・サイロ・トンネル貯蔵タンク製造設備・湧き水の多い地盤でのビル基礎工事等に使用します。

通常の酸素濃度を21%とし、18%以下の表示時警報確認及びケーブルの断線、センサーの接点確認を行っています。(濃度確認が必要な場合は、チャンバーを使用し確認します)

トラックの機材搬入等の重量を計測します。

オリジナルの校正器を導入し4tまでの校正と10tまでの検査を行っています。